

豆まきで元気に鬼退治

市内保育園などで節分行事

2月3日は節分。市内の各保育園、幼稚園でも恒例の豆まきが行われ、園児が鬼退治をして災厄を払い、一年の無病息災を願う日本の伝統行事を楽しみました。
市立鷹巣東保育園(下山真知子園長、園児数52人)では、園児らが自分で作った鬼のお面を頭にかぶって豆まきを楽しみました。
紙芝居で節分の由来等を学んだあと、先生扮する本物の鬼が「うおおお」と大声を出しながら登場。園児たちは、目を丸くしてびっくりした様子でした。
鬼に向かって「鬼は外、福は内」と元気よく豆をぶつける子や怖くて先生に抱きついて泣いてしまう子など園内は大いに賑わいました。



▲「鬼は外、福は内」と元気な声が園内に響いた節分行事

空港に巨大そりコースが出現

第10回空港かまくらんど

大館能代空港冬のイベント「第10回空港かまくらんど」が2月8日、大館能代空港周辺で開催され、多くの家族連れなどでにぎわいました。空港ターミナルビル内では、開会セレモニーのあと、餅つき大会が行われ、このほど秋田県のマスコットになった「森つち」が登場し、子どもたちと餅つきに挑戦。出来上がった餅は、おしるこにして振る舞われました。
空港駐車場では、大型かまくらや人気キャラクターが並び、雪像の人気投票も行われました。また、臨時駐車場に出現した巨大そりコースでは、子どもたちがタイヤのチューブで高さ約10mのコースを滑降するなど、冬のイベントを楽しんでいました。



▲巨大そりコースでは、子どもたちがタイヤのチューブで高さ約10mのコースを滑降

今年は『平年作』

作占い「雪中稲刈り」

作占い行事「雪中田植え」の稲刈りが2月1日、綴子地内の大太鼓の館前で行われ、今年はず年に続き『平年作』との託宣が下りました。刈り手は、稲を植えたJA鷹巣町青年部の堀内英俊さん。農業関係者が見守る中、田植えのときと同じ昔ながらのけら、菅笠姿で鎌を使い、雪が積もって倒れた稲を一株ごと慎重に刈り取っていました。
刈り取られた稲は、JA鷹巣町組合員で篤農家の畠山喜久雄さんによって見立てが行われました。今年は、風雪で倒れたり折れたりした稲もあったことから「占うのは難しいが、全体的には平年作。しかし春先には低温も予想される」と、注意を呼びかけました。



▲倒れている稲わらを慎重に鎌で刈り取るJA鷹巣町青年部の堀内さん

中嶋喜代さんが旭日双光章を受章

公共福祉、地域づくりに尽力

旧鷹巣町議会議員や女性団体のリーダーなどとして地域の発展に貢献された中嶋喜代さん(88)住吉町IIが高齢者叙勲で旭日双光章を受章し、2月6日、市役所で藤田了次北秋田地域振興局長から伝達表彰を受けました。
中嶋さんは伝達を受けた後、「身に余る光栄。受章は家族や地域の皆さんに支えられたおかげ。健康が続く限りこれからも地域に貢献したい」と抱負を述べました。
藤田局長は、「叙勲は長い間公共福祉に尽力されてきた集大成。なお一層お元気で活躍され、後進の指導に当たってほしい」とあいさつ。また、同席した岸部市長も「中嶋さんの受章は市民にとって大きな誇り」と称えました。



▲高齢者叙勲の旭日双光章を受章し、藤田局長から伝達を受ける中嶋喜代さん

全県3位の北秋田市に県知事表彰

平成20年秋田県飲酒運転追放等競争

平成20年秋田県飲酒運転追放等競争の表彰伝達式が2月4日、市役所で行われ、同競争で全県3位の北秋田市に秋田県知事表彰が伝達されました。
伝達式には、鷹巣地区・森吉地区安全運転管理者協会、鷹巣地区・阿仁部交通安全協会、市交通安全母の会、市交通指導隊の代表者らが出席。表彰状は藤田了次北秋田地域振興局長から岸部市長へ手渡されました。
全県3位の表彰を受けて岸部市長は「市民の皆さんや関係団体の皆さんの努力でこのような賞をいただき、市としては名誉で大変ありがたいこと。このあとも継続し、来年もいただけるよう努力したい」と述べました。



▲北秋田市は昨年は5位、今年は3位と2年連続でベスト5入りという成績でした

寒さを吹き飛ばし各種目に熱戦

学童スキー大会、大北中学スキー大会

第54回北秋田学童スキー大会が2月8日、大館能代空港ふれあい緑地クロスカントリーコースと森吉山阿仁スキー場を会場に開かれ、北秋田市・郡の小学生が各競技で熱戦を繰り広げました。
また同日、森吉山阿仁スキー場では第61回大館・北秋田中学校スキー大会(アルペン)が開かれ、大館北秋田の中学生スキーヤーがブナ林に囲まれたゲレンデで技術とスピードを競いました。
このうち、クロスカントリー競技では、風の吹きつける厳しいレースとなりましたが、選手たちは家族らの声援を受けながら力強いストックワークでゴールをめざしました。



▲家族らの声援を受けながらゴール前で力を振り絞る選手たち